






「くらしの道具ー今と昔ー⑧灯す」 ワークシート

- 1 a.~e.のあかりの道具の名前を下の枠の中から選んで()に書いてください。
- 2 a.~e.のあかりの道具はどの燃料を利用するのか、線で結んでください。
- 3 燃料について、日本で一般的に使われた古い順に、番号1~5を○の中に書いてください。

あかりの道具		燃料(ねんいよう)	
a.		・	・ ろうそく <input type="radio"/>
b.		・	・ 油 (植物からとった) <input type="radio"/>
c.		・	・ 電気 <input type="radio"/>
d.		・	・ 石油 <input type="radio"/>
e.		・	・ 松の根(ジン) <input type="radio"/>

【あかりの道具の名前】

白熱電球／置きランプ／手松明(てたいまつ)／弓張り提灯(ゆみはりちょうちん)／火皿

4 次の文の_____に入る言葉は何でしょう。

(答えは展示パネルに書いてあるから、よくパネルを読んでね。)

- ① 人が最初に手に入れた人工のあかりは「_____」といわれる。
- ② 江戸時代には菜種油が盛んに生産され、油用の灯火具が庶民に普及した。屋内のあかりとして、火皿の周囲に枠をつけ和紙で囲んだ_____がよく使われた。
- ③ 日本では 14 世紀中頃、ウルシやハゼの実を材料とした木ろうそく(_____)が生産された。
- ④ 江戸時代末に外国から_____が伝わると、皆そのあかるさにおどろいたという。
- ⑤ 1897 年(明治 30)に杉浦銀蔵らが岡崎電燈合資会社を設立、郡界川に_____を開設した。
- ⑥ _____を光源としない電灯は、においがなく衛生的に優れ、点灯や調節が簡単で、安全かつ安定した光を供給できるため、あかりの一大革命をもたらした。人々のくらしを大きく変化させた。

5 家の中や道路、お店など、皆さんの周りでは、どのようなあかりの道具が使われていますか?ろうそくや油を利用する道具と比べて、どんなところが違うのか、また同じところはないか、よく観察して自分のノートにまとめてみましょう。

*どんな道具:

<ろうそくや油を利用する道具と比べて>

*違うところ:

*同じところ: